

令和3年度 事務事業評価表(令和2年度の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 20 日

事務事業名		民間保育所委託事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	010101000449
					単独/補助	補助		040201
政策体系		政策体系上の位置付け					所属課	児童福祉課
総合計画の施策名		0101 子育て支援及び少子化対策の推進					課長名	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり					グループ	保育G
施策名		01 子育て支援及び少子化対策の推進					担当者名	
手段名		01 ①子育ての支援体制の充実						
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目					単年度繰返し (平成17年度~)			
会計 01 款 03 項 02 目 02 事業 06 細 00					子どものための教育・保育給付事業			
法令根拠					↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
児童福祉法 子ども・子育て支援法 桜川市保育所設置条例 桜川市保育の実施に関する条例								

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像) 【障がい児保育事業】 心身に障がいを有する乳幼児の保育を推進するため、障がい児の受入れ及び集団保育の促進を図るため民間保育所等に保育士の配置に必要な経費を補助する。障がい児1人当たり月額70,000円。 【民間保育所等乳児等保育事業費補助金】 令和2年度民間保育所等乳児等保育事業費補助金交付要項で定められた事業。 【施設型給付費】 「施設型給付」・「地域型保育給付」の2つの給付制度があり、認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育等に対する財政支援を行う。 「認定こども園」「幼稚園」「保育所」「小規模保育等」の教育・保育を利用する子どもについては、1号・2号・3号の3つの認定区分が設けられ、この区分に基づいて施設型給付等(施設・事業者が代理受領)が行われる。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・桜川市民間保育所等補助金交付要項に基づき、申請を受付し、審査、交付決定を行う。 ・桜川市に住所のある児童が利用する教育・保育施設からの施設型給付費請求書を受付し、審査、給付費の支払いを行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
教育・保育施設及び小規模保育を行う事業者に対して公定価格及び各種補助金を交付する。	市内施設(園)数	箇所	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
	市外施設(園)数	箇所	15.00	25.00	25.00	25.00	25.00
	入所児童延人数	人	10,363.00	10,213.00	10,213.00	10,213.00	10,213.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
教育・保育施設及び小規模保育を行う事業者	入所延児童数	人	10,363.00	10,213.00	10,213.00	10,213.00	10,213.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
補助金や施設型給付費を交付することにより、施設の健全な運営と職員の処遇を改善し、保育の充実を図る。	待機児童数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量		
		(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円	272,721	347,828	329,166	0
		県支出金	千円	150,854	157,486	165,044	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	235,247	228,865	198,388	0
	事業費計(A)	千円	658,822	734,179	692,598	0	
	正規職員従事人数	人	6.00人	4.00人	4.00人		

		02年度事業費 実績(千円)		03年度事業費 予算(千円)	
事業費の内訳	18 負担金補助及び交付金	4,399		18 負担金補助及び交付金	9,282
	19 扶助費	729,780		19 扶助費	683,316
		合計		734,179	合計

事務事業名	民間保育所委託事業	事務事業No.	10101000449	所属課	児童福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成24年度において、子ども・子育て関連3法が改正されたことに伴い、平成27年度より財政措置が認定こども園、幼稚園、保育所共通の「施設型給付費」となった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているのか？ 教育・保育施設において「施設型給付費」の請求書を作成するため、施設の事務負担が大きい。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 民間施設の運営が活発になることにより、保育の質の向上につながり子育て支援に結び付く。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 民間施設の運営に関して国の公定価格を基に支払うので妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 適正な水準であり、成果が得られている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 民間施設の運営が困難となり、待機児童が増加する恐れがある。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 国の公定価格を基に運営費を支給しているので余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 児童の福祉向上につながっている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	桜川市に住所のある児童が利用する教育・保育施設からの施設型給付費請求書を受付・審査し適切に給付費の支払いを行っている。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 ⑦																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>